

天然薬用資源に基づく創薬・研究のための学術交流プログラムの報告

2018年9月11日～19日にかけて、2018年海外留学支援制度（協定派遣）の支援を得て、医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻の博士前期課程1年の学生3名が、タイ王国のチュラロンコン大学薬学部を訪問してきました。本プログラムは、チュラロンコン大学薬学部の訪問を通じて、現地の天然薬物資源と創薬との関りを英語で学んだり、参加者の英語によるプレゼンテーションや議論を通じて国際感覚を養う目的で行われました。参加者はチュラロンコン大学薬学部の学生との英語講義の共修や研究室・施設見学を通じてタイ王国の地域に根差した教育や研究を学んだり、バンコク近郊の学研都市にある創薬研究施設 BIOTEC や赤十字施設でのヘビ毒抗血清作製工程などの見学を通じて貴重な経験を積むとともに大変有意義な時間を過ごしてきました。なお、本プログラムの内容に関しましては、12月25日の英語による報告会を通じて、本学の学生と情報を共有する予定です。



